

令和6年4月1日  
小樽開発建設部

## 小樽開発建設部地域連携課の新設と キックオフシンポジウムの開催について

令和6年4月からスタートした第9期北海道総合開発計画は、多様な主体と『共に北海道の未来を創る』ことが中心的メッセージであり、計画の進め方として「官民の垣根を越えた共創」を掲げています。小樽開発建設部では、令和6年度から新設した地域連携課が中心となり、地方公共団体、住民、NPO、企業、教育機関等と協働・連携し、地域課題の解決や新しい価値を生み出す「共創」に取り組めます。

小樽開発建設部では、新部署「地域連携課」を後志地域の皆様に広く知っていただく機会、また、後志地域での「官民の垣根を越えた共創」について地域の方々と一緒に考える機会として、下記のとおりシンポジウムを開催します。

### 記

- 1 シンポジウム名称 共に後志地域の未来を創る～官民の垣根を越えた共創～
- 2 日時 令和6年4月16日（火）13時30分～15時30分
- 3 場所 小樽市民センターマリホール（小樽市色内2丁目13番5号）
- 4 プログラム 別紙1のとおり
- 5 参加費 無料
- 6 申込方法

・参加を希望される方は、4月12日（金）までに次のURLもしくはQRコードの申込フォームからお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/zPmMMjsPyQ>

【QRコード】



・取材を希望される報道機関の方は、別紙2の取材申込書を4月12日（金）までに以下メールアドレス宛てに送付ください。

※送付先：[hkd-ot-kouhou@gxb.mlit.go.jp](mailto:hkd-ot-kouhou@gxb.mlit.go.jp)（小樽開発建設部広報官宛て）

**ShiriBeshi**  
「世界の後志」を目指して

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

地域連携課 課長

賀川 智章（電話 0134-23-8035）

地域連携課 課長補佐

佐武 敏江（電話 0134-23-5153）

（小樽開発建設部ホームページ）

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/>



# 共に後志地域の未来を創る

— 官民の垣根を越えた共創 —

日時 2024. 4 / 16 (Tue) 13:30 ~ 15:30 (開場 12:45)

場所 小樽市民センターマリホール  
(小樽市色内2丁目13番5号)



【会場案内】

入場無料

定員 300名

※ 申し込み方法は下記に記載

## プログラム

- ◆ 13:30~ 主催者挨拶（小樽開発建設部長 遠藤平）
- ◆ 13:35~ 第9期北海道総合開発計画と地域連携課の紹介（同上）
- ◆ 13:55~ 基調講演「後志の歴史におけるインフラ建設・管理の役割と将来」（小樽商科大学副学長 江頭進氏）  
明治以降の北海道開発は、道路・港・鉄道の産業インフラの建設と共にあった。後志でも、資源のあるところに道路や鉄道が作られ、積出のための港が建設された。現在、北海道の地方都市は、天然資源に立脚した産業を失い、人口減少に直面している。かつて物流を目的としたインフラは、今地域社会を守るために、多様な機能を果たすことを期待されている。「第二の開拓期」に入った北海道において、既存・新規のインフラをどのように活かして、人口減少社会の中で地域をどのように維持していくかを考える。
- ◆ 休憩
- ◆ 14:25~ パネルディスカッション「官民の垣根を越えた共創」

## 出演者プロフィール



江頭 進氏【基調講演講師、パネルディスカッションコーディネーター】

国立大学法人 北海道国立大学機構 小樽商科大学 副学長  
小樽商科大学理事（総務・財務担当）や同大学付属図書館長、グローバル戦略推進センター研究支援部門長等を務める。



須藤 真哉氏【パネルディスカッションコメンテーター】

北海道新聞社不動産開発室担当部長 / 前：北海道新聞社倶知安支局長  
1996年入社、根室支局、東京報道センター、本社報道センター、経済部、苫小牧報道などを経て、2021年10月から2024年2月まで倶知安支局在任。本年3月から現職。

## パネリスト(五十音順)



石塚 貴洋氏

〔石塚水産 代表〕

大学在学中に組んだバンドでメジャーデビューを果たすも、体調を崩した父の仕事を手伝うため、岩内町へ戻り家業を継ぐ。後志総合振興局主催の「食の相談会」に参加したことをきっかけに、岩内町名産品である“えぞあわびアーシェ”を誕生させるなど、抜群のセンスと発想力で様々な商品を企画・製造等してきた。現在は、共和町の神山沼レストハウスの管理など、地元役場と協働で集客力向上に向け邁進している。



奥田 啓太氏

〔ニセコ町移住定住支援員・  
合同会社ニセコベースキャンプ代表〕

2016年5月、ニセコ町地域おこし協力隊へ入り、農産物の直売業務に携わる。当時移住に関する相談窓口がない中、誰でも気軽に相談や立ち寄りができるカフェを立ち上げ、年間約100件の相談を受けるなど、行政との懸け橋を担った。現在は、ニセコ町から業務委託を受け、移住・定住に関する支援、相談窓口を開設し、行政とのパイプ役を担う。その他にも、“ニセコの食”をテーマに、食品加工の事業を行うなど、日々ニセコ町の可能性を探り、チャレンジしている。



進木 澄人氏

〔北海道真狩高校 教諭〕

北海道真狩高校は、村立の農業高校として「有機農業コース」と「野菜製菓コース」を設置し、「農業の担い手養成・農業を中核とした産業人を育てる」ことを基本とした教育活動を行う。進木教諭は、地方圏が抱える“地域交通の課題と教育”について、生徒とともに向き合い、後志地域を支える農業後継者育成に奮闘する。



二川 英司氏

〔(有)どさんこ農産センター取締役〕

建設会社に就職した後、平成16年の台風被害を契機に地元赤井川村へ戻り、Uターン就農した。平成19年に村の若者らと、「農業元気グループ Together」を結成し、耕作放棄地を再生させ、村の景観を取り戻す活動に取り組んだ。現在は、地方圏の物流問題に向き合い、新たな輸送ルート確立に動いている。



福島 慶介氏

〔NPO法人OTARU CREATIVE  
PLUS(略称OC+)専務理事〕

OC+は、小樽に眠る資源（ヒト・モノ・コト）を繋ぎ、混ぜ合わせながら、この街にしかない価値を共創から生み出していくことで、「文化と経済の両輪で未来へ進むまちづくり」を推進する団体。福島氏は、カフェ事業などで利活用を行う（旧）岡川薬局のほか、旧北海製缶第三倉庫のライトアップや小樽市観光誘致プロモーションビデオなどを手がける。旧北海製缶第三倉庫では、都市計画変更を含めた利活用策を行政に提案するなど、官民連携の街づくりに取り組んでいる。

## 【お問合せ先】

北海道開発局 小樽開発建設部  
地域連携課

〒047-8555  
小樽市潮見台1丁目15番5号  
TEL：0134-23-8035

## 申し込み方法

下記URLもしくはQRコードの申込フォームからお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/zPmMMjsPyQ>



【QRコード】

申し込み期限

4月12日（金）  
まで

# 第9期北海道総合開発計画について

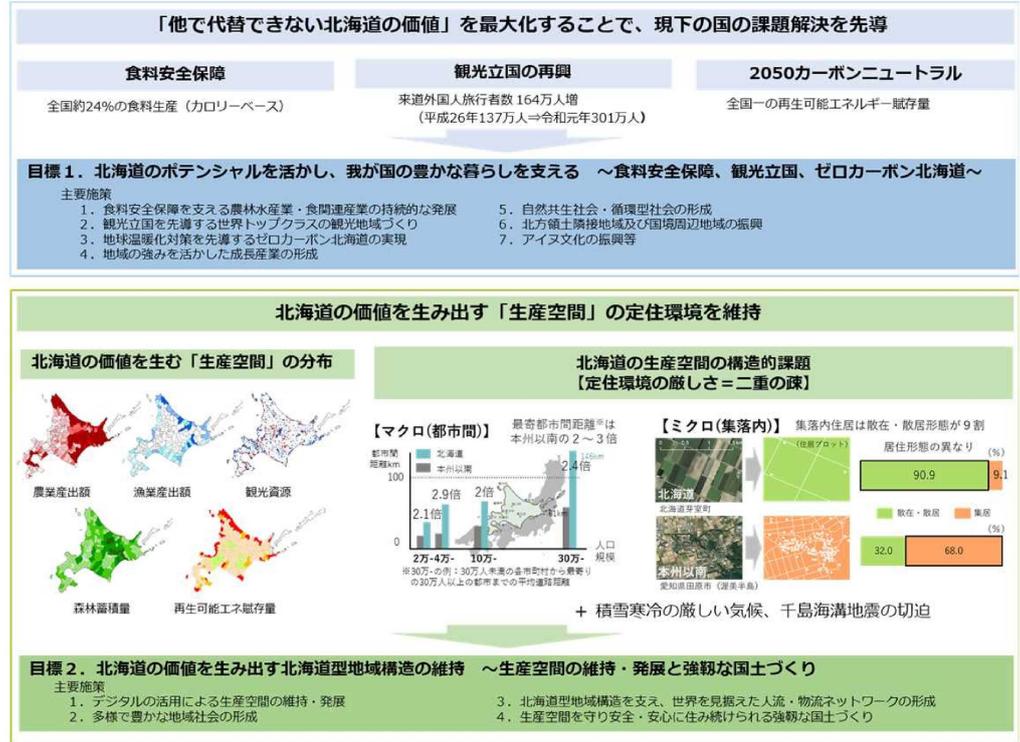
## ■北海道総合開発計画について

北海道総合開発計画は、北海道開発法に基づき、北海道の資源・特性を活かして我が国が直面する課題の解決に貢献するとともに、地域の活力ある発展を図るため、国が策定する計画です。

令和6年3月12日、第9期北海道総合開発計画が閣議決定されました。

## ■第9期計画の概要

9期計画は、北海道の価値として、従来からの北海道の強みである「食」と「観光」に加え、再生可能エネルギーのポテンシャルを活かした「脱炭素化（ゼロカーボン北海道）」を3つ目の価値として位置づけ、これらの他で代替できない北海道の価値を最大化することで現下の国の課題解決を先導すること、そして、これらの北海道の価値は生産空間に住むこと・行くことで生み出されるものであることから、リアル（人流・物流ネットワークと強靱な国土づくり）とデジタルで定住・交流環境を維持・発展させていくことを目標としています。



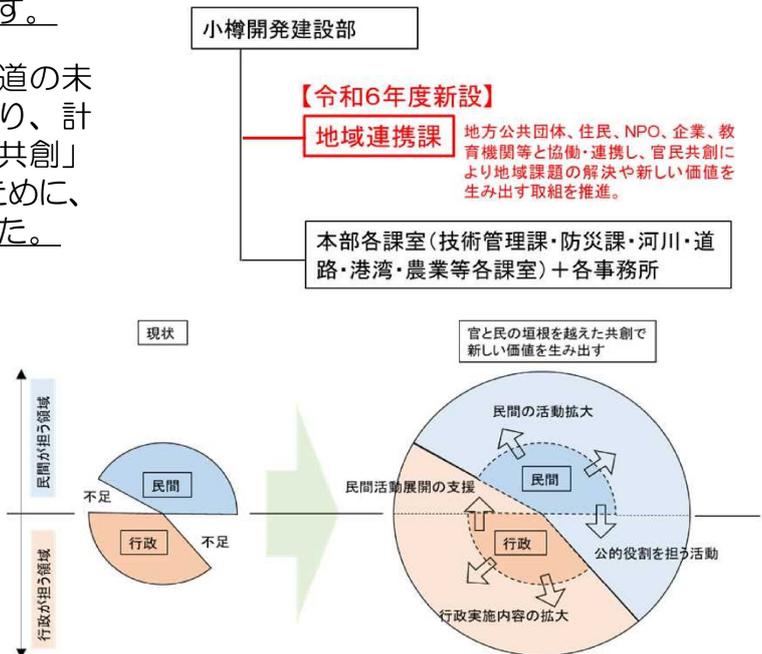
## 後志地域での第9期計画推進に向けて

1) 小樽開発建設部では、後志地域のブランド力ある多様な「食（農・水産物）」と国内外から多くの観光客を引きつける「観光」の高いポテンシャルを活かして、後志地域が8期計画推進を牽引するとの認識のもと、「世界の後志を目指して」を掲げて8期計画を推進してきました。後志地域は、9期計画で新たに加わった北海道の価値「脱炭素化」も高いポテンシャルを有しており、9期計画の推進も牽引する地域であることから、これからも「世界の後志を目指して」をキャッチフレーズに9期計画を推進します。

2) 9期計画は、「多様な主体と『共に北海道の未来を創る』」ことが中心的メッセージであり、計画の進め方として「官民の垣根を越えた共創」を掲げています。この官民共創を進めるために、令和6年度から地域連携課を新設しました。

小樽開発建設部では、

- ①事業推進にあたっては、多様な主体や分野を超えた連携・協働に取り組み、より多くの将来像の実現、より多くの地域課題の解決を目指します。
- ②地域連携課が中心となり、様々な地域共創に参画し、後志地域の魅力や価値をさらに高めていくことに取り組みます。



小樽開発建設部

## 取材申込書

『共に後志地域の未来を創る～官民の垣根を越えた共創』

送付先 : hkd-ot-kouhou@gxb.mlit.go.jp (小樽開発建設部広報官宛て)

| お名前 | ご所属 | ご連絡先 |
|-----|-----|------|
|     |     |      |
|     |     |      |
|     |     |      |
|     |     |      |
|     |     |      |

※4月12日(金)までに申込み下さい。

※本申込みに記載されている情報は、小樽開発建設部が取材の相手方を確認する以外には使用しません。